

補助事業番号 : 20-29

補助事業名 : 平成20年度 医療情報システムの普及促進等補助事業

補助事業者名 : 財団法人 医療情報システム開発センター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

医学、医術等の進展に即応し、国民医療の質の確保に資する医療情報のシステム化の促進を図るため、医療情報システムに関する実態調査を行うとともに、医療情報システム等の普及促進事業により、医療情報に関する講演会等の開催を行う。

これらの事業実施により広く一般への啓蒙を行い、併せて我が国の医療情報システム等を推進し、もって国民福祉の向上と電子機械工業等の発展及び情報化社会の形成に寄与する。

(2) 実施内容

① 医療情報システム調査事業

医療機関における医療情報システムの実態を把握するため、全国8,912ヶ所の病院を対象として郵送によるアンケート調査を実施した。

調査内容は、病院でどのような情報技術を活用した情報システムが導入され、どのような運用を行っているのか、他の病院及び診療所とどのような連携が行われているか、遠隔診療の実態把握等である。

結果概要については、1,975の病院から回答があり、回収率は22%であった。

各病院とも情報システムの導入には、意欲的であり、地域医療連携及び遠隔診療については、初期の費用、システムの接続性、運用コスト等で検討が必要であることが判明した。

URL : http://www.medis.or.jp/1_somu/hokoku.html - keirin

② 医療情報システム普及促進事業

医療情報のシステム化と情報セキュリティの促進を図るため、医療機器データベースの利用等についての説明会、診療録のスキャン・電子化に関するセミナー等を実施した。また、保健医療分野のプライバシーマークに関するセミナーを定期的に行った。

2. 予想される事業実施効果

① 医療情報システム調査事業

医療機関におけるIT化の現状を把握し、調査・分析を行うことによって今後の医療や福祉・介護分野で必要となるIT活用システムやその基盤となる基礎技術、応用技術面の推進につながる。

② 医療情報システム普及促進事業

医療分野において必要とされるセキュリティシステムや医薬品データベースの開発が促進されることにより、安全で簡便な医療情報交換手段（電子カルテ、オーダーリング等）が提供され、より安価で安全な医療情報システムの開発の推進につながる。

また、介護・福祉関係者向けのセミナーやセキュリティ関連のセミナー等が実施されることにより、医療関係者等に個人情報保護や医療のIT化について情報提供が行われると共にその普及につなげる。

3. 本事業により作成した印刷物等

① 医療情報システム調査事業

医療情報システムに関する調査のお願い	9,000 部
保健医療福祉情報システムに関する調査票	9,000 部
アンケート調査発送用封筒	9,000 枚
アンケート調査送信用封筒	9,000 枚

② 医療情報システム普及促進事業

医療機器データベース使い方いろいろ	2,000 部
第2回MEDIS-DC診療録のスキャン・電子化セミナー	200 部
保健医療福祉分野のプライバシーマーク認定指針 第2版	1,000 部
医薬品製品情報コード	5,000 部
医薬品製品情報コード登録システム利用マニュアル	500 部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人医療情報システム開発センター

(ザイダンハウジンイリョウジョウホウシステムカイハツセンター)

住所：113-0024

東京都文京区西片1-17-8 KSビル3階

代表者：理事長 遠藤 明 (エンドウ アキラ)

担当部署：総務企画部

担当者名：部長 高原 邦廣 (タカハラ クニヒロ)

電話番号：03-5805-8201

FAX番号：03-5805-8211

E-mail：takahara@medis.or.jp

URL：<http://www.medis.or.jp/>